

保育目標		様々な出会いや体験を通し、心豊かに過ごす。			
年間区分		I期(4月~5月)	II期(6月-8月)	III期(9月-12月)	IV期(1月-3月)
子どもの姿		○新しい環境に戸惑いが見られる。 ○環境や保育者等に少しずつ慣れ、安心して好きな遊びをする。 ○楽しい雰囲気の中で友だちや保育者と一緒に過ごす。	○保育者と親しみながら遊ぶ。 ○身近な自然物への関心が増し、砂や水で喜んで遊ぶ。 ○友だちとの関わりが少しずつ増える。	○保育室での流れに慣れ、流れに沿って活動することが出来る。 ○周囲の環境に興味を持ち、言葉や体を使って伝えようとする。 ○友だちと一緒に遊ぼうとする姿が見られる。	○安定した環境の中で探索活動を通して、色々な人や物に触れて楽しむ ○身の回りのことを自分でしようとする ○進級に向けて期待感が高まる
ねらい		○一人一人の生活リズムを把握し、少しずつ新しい環境に慣れるようにする。	○一人一人の要求や思いを、言葉やスキンシップにより受け止めることで、保育者への信頼関係を育てる。	○個人差に留意しながら、一人一人の発達に合った表現活動や全身運動が十分できるようにする。	○一人一人の生理的欲求や気持ちを満たされるようにすると共に次年度への生活リズムへと移行出来るようにする。
養護	生命の保持	○一人一人の生活リズムが大切に受け止められ、安全かつ清潔な環境の中で健康でゆったりと過ごせるようにする。	○一人一人が安心できる環境の中でゆったりと過ごし、健康で快適な生活が出来るようにする。 ○安心出来る環境の中で話したいことを話したり、身近なものに興味や関心を持ち、自分から関わったりしようとする気持ちを大切に育てる。	○気温差や体調に留意し、衣服の調節や水分補給を行うと共に、基本的な生活習慣を一人一人に合わせて援助し、健康に過ごせるようにする。 ○思いや欲求が丁寧に受け止められ、安心して自己主張をする。	○健康観察を十分に行い、衛生や健康に気を配る共に、一日の流れが身に付き、身の回りのことを援助してもらいながら自分で行う喜びが味わえるようにする。 ○保育者や周りの友だちと過ごすことで安心し、関わりを楽しめるようにする。 ○一人一人の成長を認め、満足感や達成感を味わえるようにする。
	情緒の安定	○スキンシップなどの関わりの中で信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。	○外気に触れる心地良さ、のびのびと手足を動かす楽しさを知る。 ○触れ合い遊びをしたり、言葉を掛けられたりして、喃語を発する。 ○音の出る玩具や柔らかな素材の物に触れ、興味を湧き、手を伸ばし遊ぶ。	○安心出来る環境の中で体を動かして遊ぶ。 ○保育者の言葉に反応し喃語で答えたり表情や身振りで感情を表す。 ○気に入った玩具や絵本に繰り返し触れる。	○探索活動などを楽しみながら十分に体を動かして遊ぶ。 ○保育者の言葉を真似しようとして、好きな歌と一緒に唄おうとしたりする。 ○歌や音楽に興味を持ち、身近な素材で音を鳴らすなどして楽しむ。
教育	乳児	健康やかに伸び伸びと育つ 身近な人と気持ちよく通じ合う 身近なものとの関わり感性が育つ	○外気に触れる心地良さ、のびのびと手足を動かす楽しさを知る。 ○触れ合い遊びをしたり、言葉を掛けられたりして、喃語を発する。 ○音の出る玩具や柔らかな素材の物に触れ、興味を湧き、手を伸ばし遊ぶ。	○戸外での風の心地よさや光の眩しさなどを体感する。 ○保育者の歌に合わせて体を揺らしたりリズムをとったりして体を動かし楽しむ。 ○身近なものに興味や関心を示し、見たり、触れたりする。	○探索活動などを楽しみながら十分に体を動かして遊ぶ。 ○保育者の言葉を真似しようとして、好きな歌と一緒に唄おうとしたりする。 ○歌や音楽に興味を持ち、身近な素材で音を鳴らすなどして楽しむ。
	1歳以上	健康 人間関係 環境 言葉 表現	○保育者等に援助されながら、様々なことに取り組む。 ○保育者等と関わり、興味や親しみをもち、 ○新しい環境に慣れ、好きな遊びを十分に楽しむ。 ○楽しい雰囲気の中で、意欲的に食事を摂る。 ○絵本に親しみ、友だちや保育者等と遊ぶ中で言葉のやりとりを楽しむ。 ○戸外で体を動かしたり、自然に触れたりしながら遊ぶ。 ○身近な音楽に親しみながら、体を動かして楽しむ。	○汗をかいたら拭く、着替えをするなど暑い日の過ごし方を知る。 ○水遊びや汗をかいた後のシャワー浴等をして、気持ちよく過ごす。 ○保育者等や友だちとの関わりを楽しむ。 ○好きな絵本を繰り返し見たり、簡単な言葉の模倣をしたりして楽しむ。 ○生活や遊びに必要な言葉が分かり、自分の言葉で伝えようとする。 ○音楽に合わせて歌を唄ったり、簡単な楽器遊びを楽しむ。	○身の回りのことを自分でやってみようとする。 ○友だちの存在を意識し、関わろうとする。 ○散歩や戸外遊びを通して秋の自然を楽しむ。 ○保育者等や友だちに簡単な言葉や指差しして思いを伝えようとする。 ○友だちとの会話を楽しむ。 ○手遊びを通して簡単なリズムを楽しむ。 ○さまざまな素材に触れたり、活動をししたりし、五感で楽しむ。
食育		○旬の食材を味わう。 ○楽しい雰囲気の中食事を摂る。	○旬の食材を味わう。 ○良く噛み、自ら進んで食事を摂る。	○旬の食材を味わう。 ○皆で楽しく食べる中で、食事のマナーを知る。	○旬の食材を味わう。又、食材に興味を示す。 ○食事の挨拶やマナーが身に付き、完食する喜びを味わう。
健康・安全		・家庭状況、生育状況、健康状態の把握・定期健康診断(年2回)・身体測定(月1回)・日々の視診異常が認められた時の対応・感染症情報共有 ・避難訓練(火災・地震・緊急時・不審者・虐待)・消防設備点検・安全点検(室内・室外)・インシデントレポート各種の記録と共有・玩具の消毒			
自然共育		○春の風や日差しを心地よさを感じ、戸外で心地よく過ごす。 ○様々な花や昆虫等を探索し、春を感じる。 ○季節に合った歌や手遊びを通して、動植物への興味に繋げる。	○戸外で見つけた昆虫・動物・鳥等に興味を持ち観察する。 ○梅雨に雨が降ることを知る。 ○日差しの強さや夏の雲等、季節の特色を知る。 ○季節に合った歌や手遊びを通して、動植物への興味に繋げる。	○秋から冬への季節の変化(植物・風・気温等)を保育者と共に感じていく。 ○木の実・種・落ち葉等の発見を楽しむ。 ○陽が短くなっていくことに気が付く。 ○季節に合った歌や手遊びを通して、動植物への興味に繋げる。	○冬ならではの、寒い朝の発見や感動(白い息・霜柱・氷等)に共感する。 ○冬の動植物から、春の動植物への移り変わりを知る。 ○季節に合った歌や手遊びを通して、動植物への興味に繋げる。
環境設定・配慮		○新しい環境になり、不安定になることが予想される為、落ち着ける場所の確保やコーナー遊び等、生活や遊びの場面などの設定の工夫を工夫する。 ○新しく入所した子どもたちは不安も強いことから、スキンシップを多くし、しっかりと寄り添い気持ちを受け止めていく。 ○子どもや保護者との信頼関係を築いていく。 ○家庭との連絡を密にとり、一人一人の生活のリズム及び健康状態を把握する。 ○子どもに対する保育者同士の連絡を密にし、協力体制を整える。 ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○プールや沐浴など暑い時期ならではの活動の環境を整え、楽しく快適に過ごせる工夫をする。 ○温度・湿度などに合わせた衣服の調節をする。 ○暑さで疲れやすくなる為、休息や水分を十分にとる。 ○朝、午睡前の視診をしっかりと行い、熱中症等、体調管理に留意する。 ○基本的な生活習慣において自分でやってみようとする意欲が出るよう、声を掛け、見守り、認める。 ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○様々な素材や興味をもちそうなものを用意し、色々な体験・経験が出来るようにする。 ○秋の自然の散策が、いつでも出来るよう、準備を整えておく。 ○皆で楽しめる共通の時間を生活の中で意識的に取り入れる。 ○手洗いの習慣が身に付くよう、毎日丁寧にを行う。 ○季節の変わり目に伴い衣服の調節や気温の変化に配慮する。 ○発達段階に応じた友だちとの関わり・遊びの配慮をし、保育者同士で共通の理解や対応を心がける。 ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○戸外遊び以外でも室内で体を動かせるよう、室内環境を整える。 ○同じ活動でも、異年齢毎にねらいが持てる環境・素材・内容の設定をする。 ○一人一人の育ちを見直し、遊びへの興味や生活習慣等、成長の課題を再認識する。 ○それぞれに合った働きかけ、見直しを持って関わる。 ○感染症の流行時期である為、手洗いうがいの実行とマニュアル対応の徹底を保育者同士が共通認識する。 ○部屋の温度・湿度や衣服の調節をこまめに行う。 ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)
行事(健康診断含)		○お花見 ○こどもの日 ○健康診断	○七夕 ○プール遊び ○夏祭り	○健康診断 ○クリスマス会	○お正月 ○節分 ○ひな祭り
保護者等への支援		育児相談・園だより(・保護者の行事参加)			
自己評価					